

2025年6月2日

学生の皆さんへ

通学マナーに関する近隣からのクレームについて

学生部長

6月に入り、蒸し暑い季節になりました。4月に皆さんに守ってもらいたい「通学マナー7か条」を様々な場面で伝えてきましたが、通学時や課外活動後の帰宅時など、きちんと意識して行動していただいているのでしょうか。残念ながら、一部の学生はこのマナーを守れておらず、近隣の方から厳しいご意見をいくつもいただいております。いま一度、自分の行動を客観的に見つめ直し、大学生として恥ずかしくない振る舞いを心掛けてください。

加えて、この時期にはもうひとつ気を付けてもらいたいマナーがあります。梅雨に入り、これから夏にかけては雨傘/日傘ともに出番が多くなります。傘をさすことは必要だと思いますが、歩道でたくさんの人が通行しているときには、傘が周囲の人に当たらないよう十分な配慮が必要です。また、傘をさすといつもより視界が狭くなりますから、周囲の人の通行の妨げになっているのに気づかない、ということが無いようにしてください。



■ 傘や日傘をさすときは周囲を充分に確認しよう！

基本の「通学マナー7か条」

特に注意！



■ 道路いっぱい広がって歩かない ※歩道の片側に寄ること！

友達と道いっぱい広がって歩くと、小さなお子さん連れや、高齢者の迷惑となります。譲り合いの気持ちを持ち、お互いが気持ちよく、通行できるようにしましょう。

特に注意！



■ 推奨ルートを使おう ※住宅街を集団で通るのは迷惑です！

大学は通学路の推奨ルートの利用を呼び掛けています。その警備員に心無い言葉を浴びせることは、絶対にやめましょう。

特に注意！



■ 大声で話さない ※帰宅時、「夜」は特に会話が響きます！

友達と会話しながらにぎやかに歩くと、近隣住民の平穩を阻害します。また、会話の内容も意外によく聞かれています。会話しながら通学路を通行するときには、常に節度を持って通行しましょう。



■ 交通ルールを守ろう

横断歩道以外のところで、道を横断すると、事故の原因となります。交通ルールにしたがって、通行しましょう。

(次ページに続く)

